

観光駐車場前三叉路交差点点検報告

2019年4月30日

一昨年天神踏切で視覚障害者が列車にはねられ死亡した事故を受け、三叉路交差点の信号機の改修を長野県警が行った。長野県で初めてのタッチ式の信号との事でどのように設置されているか検証を2月20日（水）に行った。参加者はわっこより3名、上田市視覚障がい者協会の中山さん、信毎上田支局の記者の5名でおこなった。すでに信毎、点字毎日に掲載されているが詳細の部分が誌面の関係で省略されているのでまとめをおこなった。

三叉路信号の観光駐車場入口。トイレの横を出ると交差点になり信号が設置されている。交差点4箇所と同じタッチ式信号機が設置された。陰に隠れているが柱の後ろに立て看板があり手探りで信号機に触ろうとすると指先を損傷する危険がある。看板にガードが必要。また参加した車いす障がい者は歩道の手前にダブル段差があり越えにくい。カットしてほしいとの希望があった。



タッチ式の信号機の案内があるが、上部の青い部分が視覚障がい者用での案内があるが、下部の部分にタッチした場合は方向を案内する音声がない。



各交差点にタッチ式の信号機が設置され、音声が出て設置場所を教えているが車の音で聞きとれない事が多い。波長を替える事も検討してほしい。



横断歩道とタッチパネルとの距離が離れているためパネルを確認することが困難。横断歩道の近くに設置できないか。



タッチパネルが横断歩道とは離れたところに設置され、ガードレールが先を塞いでいる。場所を案内する点字ブロックもない。



点検をとうして幾つかの改善の必要が指摘される。

- 1, 設置にあたって利用当事者の立会が無かったため、不都合な状態で設置されている。合理的配慮に欠けるのではないか。点字ブロックの末広りの設置の危険性が指摘され利用当事者の立会のもと改修が行われ、横断歩道にまっすぐに点字ブロックが設置され危険の回避が行われている。
- 2, タッチパネルの使用について
上段、下段に分かれ上段が視覚障がい者仕様になり、タッチすると信号が変わる案内と共に方向を指示する音声流れる。下段のパネルを押しての案内はでない。視覚障がい者が上段にあることを知ることは難しい。分けなくて一つのタッチで音声案内も出来るようにすれば済むことではないだろうか。
- 3, 歩道から、横断歩道からパネルまで距離がありどこにパネルがあるかわからない。横断した状態での動作を確認して設置してほしい。
- 4, タッチパネルのまえのガードレールについて
なぜこのようなところに設置された理解に苦しむ。横断歩道からかけ離れた位置にあり、点字ブロックの誘導がないため位置がわからない。かつ前に進もうとしてもガードレールがあり進めないで混乱をしてしまう。早急な改修を望む。

まとめ

視覚障がい者立会のもと早急にタッチパネルの信号機の設置場所等を改善する必要がある。